

■ 歴代受賞者（敬称略）

第1回 平成20年度	功労賞	中野 政美（柔道指導者） 女子柔道の世界レベル選手の育成と女子柔道の発展
	奨励賞	丸山 弘道（車いすテニス指導者） 北京パラリンピック金メダルへのチャレンジ
第2回 平成21年度	功労賞	塚越 克己（スポーツ医・科学研究者） 日本のスポーツ医・科学の発展を牽引した「縁の下の力持ち」
	奨励賞	増田 雄一（アスレティックトレーナー） トップレベルのサポート技術を一般レベルに拡大する取り組み
第3回 平成22年度	功労賞	高田 静夫（サッカー審判員） 日本人審判員の育成をめざした各種制度の確立と運用
	奨励賞	中村 宏之（陸上指導者） 雪国から世界をめざすトレーニングの独自開発と実践 中北 浩仁（アイススレッジホッケー指導者） 強化システムの大改革で日本初のメダル獲得にチャレンジ
第4回 平成23年度	功労賞	岸本 健（スポーツ写真家） スポーツ写真家の草分けとして、スポーツ報道の機会拡大に貢献
	奨励賞	水谷 章人（スポーツ写真家） 独創的な表現でスポーツの魅力を伝え、スポーツ写真家の育成・環境整備にも尽力
第5回 平成24年度	功労賞	樋口 豊（フィギュアスケートコーチ、振付師、解説者） 国際的な信頼と幅広いネットワークを活かし、日本フィギュアスケートの「開国」に貢献
	奨励賞	江黒 直樹（ゴールボール女子日本代表チーム ヘッドコーチ） 「楽しいリハビリスポーツ」の普及をめざした日本女子ゴールボールチーム金メダルへの挑戦
第6回 平成25年度	功労賞	臼井 二美男（技師研究員、義肢装具士） スポーツ用義足の第一人者として「走る喜び」を提供する挑戦
	奨励賞	東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 戦略広報部 戦略広報という立場から東京2020招致を支えたプロフェッショナル
第7回 平成26年度	奨励賞	妻木 充法（医学療法士、鍼灸あん摩マッサージ指圧師、日本体育協会公認アスレティックトレーナーマスター） 公正なジャッジを支える「鍼治療」の技術
	奨励賞	門田 正久（理学療法士、日本体育協会公認アスレティックトレーナー、日本障がい者スポーツ協会公認スポーツトレーナー、介護予防主任運動指導員） 障害者アスリートのメディカルサポート環境を拡充する取り組み
第8回 平成27年度	功労賞	藤原 進一郎（日本障がい者体育・スポーツ研究会 元・理事長、日本障がい者スポーツ協会 元・理事、技術委員会 元・委員長、日本パラリンピック委員会 元・運営委員、極東・南太平洋身体障害者スポーツ連盟 スポーツ委員会 元・委員長） 「すべての障がい者の生活者にスポーツを—」その信念を貫いた40年
	奨励賞	中島 正太（15人制/7人制男子ラグビー日本代表チーム アナリスト） 先端技術を駆使したデータ分析で、ラグビー日本代表の躍進に貢献
第9回 平成28年度	功労賞	今村 大成（株式会社タマス 取締役/Tamasu Butterfly Europa GmbH 社長） 日本若手卓球選手の武者修行を支え続ける「デュッセルドルフの父」
	奨励賞	野口 智博（日本大学文理学部 教授/木村敬一選手パーソナルコーチ） 障害者スポーツ全体の課題に先鞭をつけた挑戦 ～トップ選手の指導からパラアスリート強化の現場へ～
第10回 平成29年度	奨励賞	狩野 美雪（デフバレーボール日本代表女子チーム 監督） トップ選手の経験を活かした指導でデフバレーボール日本女子代表を金メダルに導く